

黒川絵画に思う

論語に「これを知る者はこれを好む者にしか
ず、これを好む者はこれを楽しむ者にしかず」
とある。黒川さんは昆虫少年だったという。

その意味で黒川さんが蝶やクワガタを楽しく
描く今の制作スタイルは、少年時代の夢の延長
線上にある様にも思える。第1作目の50号作品
「甲虫ワールド」が千葉県展で知事賞を受賞し、
これ以上ない作家としてのスタートを切ること
が出来た。その後は六本木の国立新美術館で開
催される全国公募美術団体・一陽展で毎年受賞
を重ね、昨秋は早くも会員に推挙され絵描きの
仲間入りを果たした。また、飯田弥生賞展や芸
術年鑑社主催のグレートリープ大賞展等の全国
公募の美術コンクール展にも積極的に挑戦し受
賞を果たすなど、今後が益々楽しみな作家であ
る。黒川さんの粘り強い制作姿勢を観ていると
米国の心理学者の「才能とは能力ではなく止め
られない性格である」との名言が浮かぶのであ
る。

一陽会運営委員

千葉県美術会常任理事

瀧田 清

黒川秀夫展

会場 Gallery睦

会期 2024年4月26日(金)～5月8日(水)

休館日 4月29日(月)・5月2日(木)・5月6日(月)

開館時間 11:00～18:00 最終日は16:00まで



〒260-0045 千葉市中央区弁天3-8-11

TEL & FAX 043-287-2355

URL <https://gallery-mutsu.com>

J R 千葉駅千葉公園口から徒歩10分

千葉市中央図書館裏口正面、弁天保育所となり



「甲虫ワールド」第67回千葉県展 千葉県知事賞 2017

画廊企画

黒川秀夫展

2024/4/26/Fri ▶ 5/8/Wed

Gallery 睦 企画展に寄せて

この度ギャラリー睦企画の「黒川秀夫展」を開催す
ることになりました。妻に先立たれた後銀行を定年退
職し、孤老の私にとって唯一の生き甲斐は絵画制作と
なりました。

少年時代好きだった「昆虫」特に「蝶々」への憧憬
は創作意欲を駆り立て、擬人化した「蝶々」の世界を
詩的に追及し続けております。

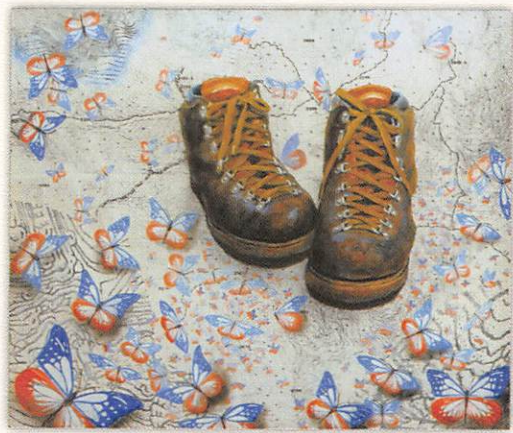
今回、初めての個展開催を通じて多くのお世話にな
った方々や同僚、地域の人々と、自分の熱中している
絵を紹介しながら旧交を温めたいと存じます。

絵画制作の年数も浅く個展開催には少し憚られる
思いもありますが、今後の勉強のため意を決した次第
です。是非ご高覧いただきたくご案内させていただきます。

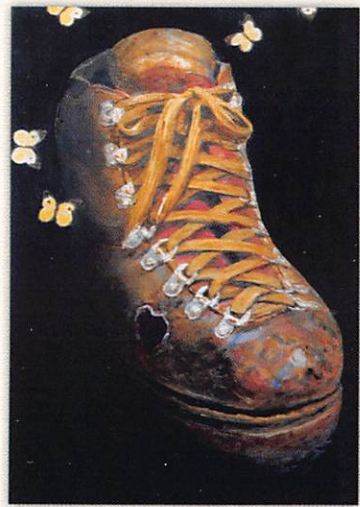
黒川 秀夫

プロフィール

- 1971 千葉大学文理学部法律科卒業
京葉銀行入行
- 2009 京葉銀行定年退職
- 2017 第67回千葉県展・知事賞
- 2018 第64回一陽展・特待賞 会友推挙
第68回千葉県展 会員推挙
- 2019 第50回記念千葉市民展・千葉市長賞
第65回一陽展・会友賞
第6回飯田弥生賞公募展・奨励賞
第69回千葉県展準依嘱推挙
- 2021 第52回千葉市民展会員推挙
- 2022 第53回千葉市民展・千葉市美術館長賞
第68回一陽展会員推挙
- 2023 第46回千葉一陽展・会員努力賞
第2回グレートリープ大賞展・くさかべ賞
- 現在 一陽会会員
日本美術家連盟会員
千葉県美術会会員(準依嘱)
千葉市美術協会会員



《記憶の断片》



《岳人の声》



《蝶 11×20》第64回一陽展 特待賞 2018



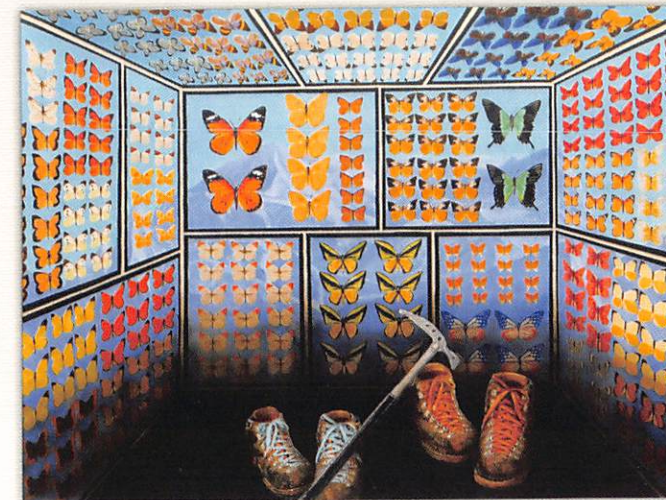
《天啓(アサギマダラ)》第69回千葉県展 2019



《天啓(アサギマダラ)》第68回一陽展 2022



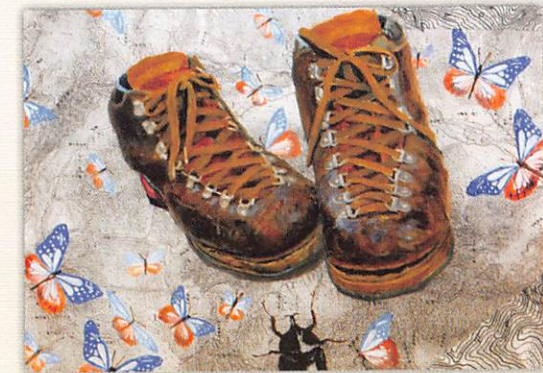
《蝶 10×20》第65回記念一陽展 会友賞 2019



《蝶の部屋》第71回千葉県展 2022



《蝶の時間》



《渡り蝶》



《蝶の部屋(12-24)》第53回千葉市民展 千葉市美術館長賞 2022